

報告事項 ク

平成28年度鳥取県教育研究大会の開催概要について

平成28年度鳥取県教育研究大会の開催概要について、別紙のとおり報告します。

平成28年12月26日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 平成28年度鳥取県教育研究大会の開催概要について

平成28年12月26日  
小 中 学 校 課

### 1 趣旨

県教育委員会では、学ぶ力や豊かな人間性と社会性の育成を図るため、各学校の取組への支援を進めている。

本研究大会では、鳥取県の「教育に関する大綱」に掲げる取組方針を踏まえ、基調講演、各校種における実践事例の発表等とおして、県内の幼児・児童・生徒の学びの質の向上、豊かな人間性や社会性の育成及び安全で、安心して通える園（所）・学校づくりの一層の推進を図る。

### 2 概要

(1) 日時 平成28年11月29日（火） 午前10時から午後4時まで

(2) 会場 米子コンベンションセンター ビッグシップ 国際会議室  
米子市福祉保健総合センター（ふれあいの里）大会議室  
鳥取県立武道館 会議室

(3) 参加者数 270名（教育関係者等）

(4) 内容

①講演「育成すべき資質・能力を踏まえた学習指導について  
～アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善～」

講師 東京大学 高大接続研究開発センター 教授 白水 始 氏

②分科会（概要別紙資料）

#### I 授業改革

- ・鳥取市立中ノ郷中学校
- ・米子市立義方小学校

#### II 校種間連携

- ・倉吉市教育委員会・倉吉市立上小鴨小学校
- ・八頭町立郡家西小学校・八頭町立八頭中学校・鳥取県立八頭高等学校

#### III 安心して学べる学校教育の推進

- ・鳥取市教育センター
- ・鳥取県立船上山少年自然の家



### 3 成果

○講演では体験や具体的な例を示し、次期学習指導要領の流れやアクティブ・ラーニングの視点に立った授業の進め方について理解を深めることができた。

○各分科会では、実践事例の発表をおして、学校全体でチームとして取り組む授業改善や接続を意識した校種間連携、学校不適応未然防止の取組の重要性について確認することができた。

<参加者の感想（アンケートから）>

- ・「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善」に向け、“必然性がある学び”“教師が振り返ること”“不断の授業改善”をキーワードに授業スタイルを見つめ直し、よりよい学びにつながる授業づくりを行っていききたい。
- ・同僚性が生かされた OJT の取組を基に、自治力の育成に取り組むことで、教師も生徒も力を伸ばしていると感じた。
- ・活用を意識した授業を行うことで、家庭学習の意欲向上が見られた点や中学生にとって高校と連携した学習を展開することで学習意欲が高まることが理解できた。
- ・県内の身近な場所で取り組まれている実践だったので、自分の学校にも取り入れていけるか検討していききたい。

(別紙資料)

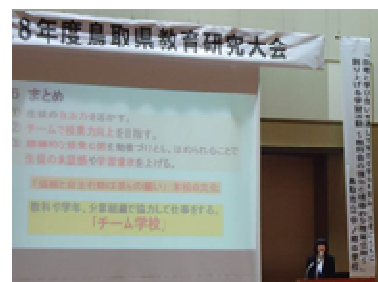
## 分科会の発表概要

### <分科会Ⅰ>

#### ○鳥取市立中ノ郷中学校

「自考と学び合いを通して確かな学力を育み、生徒とともに創り上げる学習活動～教科会の強化と積極的な授業公開～」

テーマを定めた教科会の定例化、学習意欲の向上に向けた生徒による授業参観の実施等、「生徒の自治力」という学校の強みを生かした学校全体での授業改善に向けた取組を発表した。



#### ○米子市立義方小学校

「自分の考えを豊かに表現し、かかわり合いながら主体的に学ぶ授業をめざして～国語科のねらいにせまる話し合い活動を活性化する授業づくり～」

「授業のねらいに迫るために話し合い活動を活性化する」という研究推進の軸をはっきりさせ、授業研究会や国語科で付けたい力について系統表の作成等を通じた教員全体で合意形成を大切にしたい取組を発表した。



### <分科会Ⅱ>

#### ○倉吉市教育委員会・倉吉市立上小鴨小学校

「倉吉市の幼保小連携の取組について」

市内すべての小学校と園(公・私立)を対象とし、幼稚園・保育所で育ててきた力を土台として小学校での学びにつなげ、幼保小の円滑な接続を図るための取組を発表した。



#### ○八頭町立郡家西小学校・八頭町立八頭中学校・鳥取県立八頭高等学校

「算数・数学における小中高の連携と授業改善をめざして

～八頭ツリーの取組から～」

平成26年度から中学生が高校生の学び方に学んだり、高校生自らが自分の学びを振り返ったりするような取組を通して、学習意欲向上につなげるための小中高の連携を図った取組を発表した。



### <分科会Ⅲ>

#### ○鳥取市教育センター

「一人一人の読みの力を「支える」そして「育てる」ために

～T式ひらがな音読支援を活用した取組～」

鳥取市全小学校低学年の児童を対象にT式ひらがな音読支援を実施し、学力向上や不適応の未然防止を図っている取組を発表した。



#### ○鳥取県立船上山少年自然の家

「プロジェクトアドベンチャー(PA)による「信頼関係」と「学びの環境」の構築

～PAの考え方や手法を学校現場での仲間づくりや学習に生かすために～」

学級経営や仲間づくりの手法として、プロジェクトアドベンチャー(PA)を用いた実践事例を具体的な活用場面を示しながら発表した。

